

## 第67回 全国学校新聞指導者研修会要項

- <主催> 高等学校文化連盟全国新聞専門部  
 全国高等学校新聞教育研究会
- <後援> 文部科学省（予定）  
 一般社団法人 日本新聞協会  
 長野県教育委員会（申請中）  
 長野県NIE推進協議会（申請中）  
 信濃毎日新聞社（申請中）

10月7日(土)から2日間、長野県の長野市若里市民文化ホールで第67回全国学校新聞指導者研修会を開催いたします。今年のメインテーマは昨年に引きつづき、「伝えることを考える-主権者意識を育む学校新聞-」としました。この研修会は、高等学校文化連盟全国新聞専門部と全国高等学校新聞教育研究会の主催で、高等学校における新聞教育の普及と学校新聞の活性化を目的に、毎年秋に開催しております。また、この研修会は、次年度、全国高等学校総合文化祭開催地でのプレ大会としての性格も、あわせ持っております。今回の研修会では、情報が氾濫する現代社会の中で、身の回りのできごとに無関心な高校生が増えている現実を踏まえ、「主権者意識を育む」という視点から、「伝えること」に焦点を当て、「学校新聞のスクール・ジャーナリズム性」を考えます。学校新聞のこの働きは、民主社会を育む力とも言えます。また、昨年多くの学校で取り上げられた「18歳選挙権」導入による主権者教育としての学校新聞の役割についても考えていきます。NIE活動も視野に入れながら、学校新聞及び新聞作りについて、幅広い観点から論議を深めたいと考えております。記念講演の講師は、「川中島合戦～伝承と真実～」をテーマに長野県立歴史館館長の笹本正治氏をお迎えし、信玄と謙信の直接対決のエピソードで語られることの多い、この合戦の真実から「伝えること」の意味を考えます。実践報告は、年間100回以上発行される校内印刷の速報紙『鈴高miniプレス』を通じて阪神淡路大震災などの身近な社会問題から、文化祭や高校総体など校内のきめ細かいニュースまで、「伝えること」を実践してきた兵庫県立神戸鈴蘭台高校の青島成夫先生と、休刊していた長野県屋代高校の学校新聞の復刊に情熱を傾けた、長野県飯山高校の上田孝先生と屋代高校の吉沢道夫先生に加えて、当時部員として復刊に全力を注いだ松橋彩華さんから発表していただきます。参加者から提出された実際の紙面をもとに、紙面づくりのポイントについて具体的なアドバイスを受ける「高校新聞クリニック」は、神奈川県立大楠高校新聞部顧問で、全国高総文祭の交流新聞作成の講師も務める中根淳一先生にお願いしました。2日目の技術講座では、地元、信濃毎日新聞社より編集委員で前読者センター長の畑光一氏をお迎えし、「信濃毎日新聞と高校生の10年」をテーマにお話いただきます。研究分科会(1)「初心者のための新聞製作」は、参加者から毎年好評を得ている富山県立高岡南高校の得地聡先生に、今年も講師をお願いしました。研究分科会(2)では、前日に引き続き、メインテーマをめぐる意見交換します。研究分科会(3)では、神奈川県立大楠高校の中根淳一先生に世話人をお願いし、長野県軽井沢高校で「政経新聞」に取り組まれている宮坂正義先生の実践報告をもとに意見交換します。

※ なお、今回の研修会参加に際し、学校長あての文書が必要な場合は、別記の高等学校文化連盟全国新聞専門部学校新聞指導者研修センター準備会センター長(群馬県立富岡高校・岡田聡史)までご連絡ください。

# 《参加要領》

1. 参加者：学校新聞を指導する高等学校の教職員及び新聞教育に関心を持つ教職員・関係者
2. 定員：70人程度（申し込み順に受け付けます）
3. 日程：10月7日（土）～8日（日）の2日間 ※日程の詳細は別紙参照
4. 会場：長野県・長野市若里市民文化ホール

〒380-0928 長野県長野市若里3-22-2

電話：026-223-2223

5. 懇親会場：ホテル信濃路

〒380-0936 長野県長野市中御所岡田町131-4

（※JR長野駅善光寺口より徒歩8分）

電話：026-226-5212

6. 申込方法：

申込用紙に必要事項をご記入のうえ、群馬県立富岡高校岡田聡史宛てお申し込みください。あわせて、下記の口座に参加費、懇親会費等も送金（振込料本人負担）してください。

参加費：4,000円 懇親会費：5,000円

【送金先】みずほ銀行東京営業部（001） 口座番号（普通）1003540

加入者名 全国高等学校新聞教育研究会

7. 申込締切：9月22日（金）必着

8. 宿泊：

宿泊につきましては、ホテルサンルート長野（宿泊申込書参照）を用意しております。ご希望の方は（株）近畿日本ツーリスト・長野支店（問合せTEL：026-227-7112、FAX：026-224-3728、担当者：宮島紀子）までご相談ください。

なお、申し込みは別紙宿泊申込書を使い、9月8日（金）までにFAXで申し込んだ上、電話で確認してください。

9. クリニック紙の募集：

高校新聞クリニックを希望される方は、参加申込用紙にその旨をご記入ください。先着順に4校まで受け付けます。申し込み結果、クリニック紙の送付先など、詳細はお申し込み者ご本人に、直接ご連絡いたします。

10. 交換紙コーナーの設置：

各高校の新聞を交換する場所を設けます。70部をお持ちください。単一号で部数が揃わない場合は、複数号で揃えていただいても結構です。

11. 問い合わせ先：

高等学校文化連盟全国新聞専門部学校新聞指導者研修センター準備会 センター長（群馬県立富岡高校・岡田聡史）

群馬県富岡市七日市1425-1（〒370-2343）

電話 0274-63-0053 FAX 0274-62-2745

メール； [sato-okada@edu-g.gsn.ed.jp](mailto:sato-okada@edu-g.gsn.ed.jp)

以 上